

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成

- 家庭代表 PTA会長、副会長
- 学校代表 校長、教頭、教務主任、生徒指導主事 他
- 地域代表 コミュニティセンター長、坂井ボーイ隊長、更生保護司女性会会長、民生委員、保護司会副会長、坂井市応援隊長 他

※地域コーディネーター

コミセン(2名)でんすけ祭り実行委員会(1名)坂井市役所(1名)家庭・地域・学校協議会(2名)PTA会長、副会長

(2) 協議会の内容

- 第1回協議会：6月 前期指導主事訪問(授業参観)
- 第2回協議会：7月 令和元年度の計画立案
- 第3回協議会：9月 体育祭の見学(応援合戦の採点)
- 第4回協議会：11月 後期指導主事訪問(授業参観)
- 第5回協議会：3月 学校評価の成果と課題

(3) 協議会における成果と課題

成果は、地域コーディネーターの方々を活用して地域ボランティアを募ったり、でんすけ音頭を教えていただいたり、でんすけ祭りを一

緒に盛り上げたりと、今までに無い取組を生徒主体で地域の方々で行うことができた。しかし、課題としては、学校側が先導を取ったので、地域コーディネーターと学校とが、早めに話合いの場を設け、一緒に計画する必要があった。地域の方々への連絡も遅れないよう配慮する。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地元の春江に愛着と誇りを持ち、「春江ドリームプロジェクト」と称し、春江を盛り上げる。そして、主体的に「課題を見つける力」、「課題を考える力」、「行動する力」を身につける。

(2) 活動の実際

①地域のために何ができるか！(1年生)

地区ごとに生徒たちが集まり、より住みよくするためには何ができるのかを考えた。清掃活動、ゴミ拾い、駅の窓ふき、遊具のペンキ塗り、春江中学校を紹介するビラ配りなどを全29か所で行った。さらに、92名のボランティア(地域在住の方々)を集い、一緒に活動することができた。



②でんすけ祭りを盛り上げよう！(1年生)

でんすけ音頭の継承を保存会の方々で行った。そして、一緒にでんすけ音頭をステージで発表した。また、実行委員と何度も話合いを重ね、祭りをTVでPRしたり、ダンスを披露したり、ブースを設けてタピオカドリンクを販売したりと、祭りを盛り上げた。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

- ・地域ごとに、ボランティアの方を集めていただき、一緒に活動した。
- ・でんすけ音頭保存会の方々を紹介していただき、一緒に伝統を継承した。
- ・でんすけ祭りにブースを設けていただいたり、ステージ発表の機会を与えていただいたり、報道を使って一緒に祭りをPRしたりと、生徒と一緒に祭りを盛り上げる方法を考えた。



(4) 特に工夫した事項

- ・生徒の思いを優先させるため、教師や地域コーディネーターはサポート役に徹した。
- ・新聞やTVの報道を使って、生徒の活動をPRした。

(5) 成果と課題

成果としては、生徒たちは、地元の人たちと話合いをしながら活動し、地域の人たちに直接感謝されることで、達成感を味わうと共に地元愛を高めることができた。生徒主体で計画から活動まで行っただけで、主体的に課題を見つけ、考え、行動する力を高めることができた。しかし、課題としては、計画が少しでも遅れると、地域の方々に迷惑をかけることになる。また、学校主導ではなく、どのように地域コーディネーターの方を中心に活動するのか、などがあげられる。